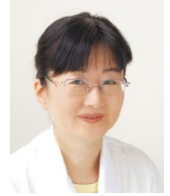


災害時医療を考える会

「災害時医療を考える会 Team Esteem」が発足して丸3年が経とうとしています。さまざまな職種の志ある仲間が36名集まって、毎月ディスカッションをしてきました。そこで、この3年の集大成としてシンポジウムを開催することになりました。

ぜひ、ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

齊藤光江



時 平成26年 **3月9日(日)** 13:00 ~ 17:00
場所 順天堂大学 10号館 1F 大カンファレンスルーム
参加費 無料
お申込 メールにてお申込ください。(所属、人数)
hiyamaza@juntendo.ac.jp 山崎博史

ご挨拶	齊藤光江	13:00-13:05
第一部	その時、医療はどう展開されたのか	
木田光一	基調講演 その時、医療はどう展開されたのか 被災地;いわき市か	13:05-13:45
第二部	その後の学び「有事の備えは平時から」	
<医師の立場から>		
柏葉匡寛	岩手医科大学医学部付属病院 外来化学療法室長 被災地;岩手での学び	13:50-14:05
<行政の立場から>		
野田佳彦	前総理大臣	14:05-14:35
<薬剤師から>		
新井克明	大洗海岸病院 薬剤部 部長 被災地;大洗から、薬の管理システムについて	14:35-14:50
水八寿裕	ふくろうメディカル 中川調剤株式会社 埼玉県薬剤師会の災害時マニュアル紹介	14:50-15:00
小茂田昌代	東京理科大学薬学部 医療安全学研究室 大学薬学部ができること;Academic detailing	15:00-15:10
<メディアの立場から>		
岡本峰子	朝日新聞東京本社 朝日のあたる家のコンセプト	15:10-15:20
後藤博史	へるす出版 編集部次長 情報伝達の在り方	15:20-15:30
<医療を支える立場から>		
山崎博史	ネットスタイル 代表 在宅医療ネットワークの構築	15:30-15:40
上平泰輔	株式会社 大伸社 常務取締役 企業が行った震災孤児支援	15:40-15:50
菅野直樹	福島赤十字病院 精神保健福祉士 社会福祉士 災害時に於けるソーシャルワーカーの役割	15:50-16:00
第三部	パネル・ディスカッション	
産・学・官が、協同で平時から成すべきことの提案		16:00-17:00

この三年間の学び



主催:災害時医療を考える会 TEAM ESTEEM 事務局
<http://esteem311.wordpress.com/>

お問合せ先:順天堂大学 乳腺内分泌研究室 山崎博史 hiyamaza@juntendo.ac.jp

駐車場はございませんので、電車またはバスでお越しください。